

インドネシア国産官学一団が来日、 日本のボーリング技術を視察

～インドネシアの構造物を「地下」から支える関西の技術～

2018年4月15日（日）から2018年4月21日（土）の7日間の日程で、インドネシア国公共事業省、地盤工学会、バンドン工科大学、国营建設企業などから5名の技術者が来日し、日本の地質調査の現状とボーリング工法等について視察・研修を行います。

インドネシアはGDP5%前後の経済発展を続ける中、インフラ整備が急務となっています。しかしながら、構造物の設計条件を取得するための調査ボーリング技術が未熟なことから、精度の低い地質情報に基づいた設計が行われています。その結果、調査や設計のやり直し、追加工事の発生、さらには、構造物の安全性を脅かす事態を引き起こしています。

この問題に対して、国内で地質調査を手掛けるハイテック株式会社（大阪市）は、独立行政法人国際協力機構（JICA）から委託を受け、中小企業海外展開支援事業（案件化調査）を実施しています。この調査では、インドネシア国の公共事業省などの協力のもと、現地のインフラ整備状況やビジネス環境を調査し、同社が提案する「ハイブリッドボーリング工法」の導入・基準化の可能性について検討を行います。「ハイブリッドボーリング工法」がインドネシアに導入されることにより、構造物設計の品質が確保され、質の高いインフラ整備への貢献が期待されます。



一般的なボーリング工法による土壌サンプル



ハイブリッドボーリング工法による土壌サンプル

【取材スケジュール】

日程	内容	場所
4/17(火) 午前	ボーリング掘削視察	ハイテック株式会社京都試験場 京都府亀岡市
4/18(水) 午前	講義「高速道路における設計及び施工」	西日本高速道路(株) 大阪府大阪市

取材をご希望の方は前日までに下記に必ずご連絡お願いいたします。

以上

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 国内事業部中小企業支援調査課 村上(案件担当)、橋本(広報担当)

TEL: 03-5226-9283 E-mail: Murakami.Masayo@jica.go.jp

JICA 関西国際センター 企業連携課 正永

TEL: 078-261-0397 E-mail: Masanaga.Yoshihisa@jica.go.jp